東北・福島+埼玉=福の玉 が生まれ、ゆっくりふくらんでいきますように…

福玉便り

ふくたまだより

7月&8月号

通巻 第103号

2023年7月1日発行

発行:『福玉便り』編集委員会 NPO法人埼玉広域避難者支援センター・(一社)埼玉県労働者福祉協議会
協力:生活協同組合コープみらい埼玉県本部
連絡先:NPO法人埼玉広域避難者支援センター 〒330-0061 埼玉県さいたま市浦和区常盤6-4-21 ときわ会館1F TEL0120-60-7722

飯舘村 べこやの母ちゃん ―それぞれの選択

福玉上映会＆監督のトーク
「飯舘村 べこやの母ちゃん―それぞれ の選択」
日時：7 月 30 日（日）12 時半〜（開場 12 時）
会場：埼玉県男女共同参画推進センター With You さいたま

（さいたま市中央区新都心 2-2）
JR 京浜東北線、高崎線・宇都宮線「さいたま新都心駅」から徒歩 5 分
JR 埼京線（各駅停車）「北与野駅」から徒歩 6 分

入場料：無料
問合せ：福玉相談センター電話
　　　　0120-60-7722（フリーダイヤル）
メール：fukushima_soudan@yahoo.co.jp

東京電力福島第一原発事故から 12 年。飯舘村に帰村した人､帰村したくても放 射線量が高い地域で戻れない人、ほかの土地で牛飼いを続ける決心をした人…… 3 人の母ちゃんの 3 つのストーリーです。

「 原発事故から 12 年目の今、世間ではすでにニュースではなくなっています。12 年前に起こったことすら忘れ、原発の再稼働や次世代型の原発建設など叫ばれています。こういう時代にこそ観てほしい映画です。いつの時代にも残る映画にしていきたい、原発事故の経験のない世代にも伝えられるような映画になってほしいと思います。」（古居みずえ監督）

上映後に古居みずえ監督のトークがあります。終了は 16 時半の予定。

飯舘村の女性たちを追い続けてきた古居みずえ監督による10年の記録(ドキュメント)――渾身の3時間

福島県避難者支援課の奥山昂平さん

福島県避難者支援課の奥山昂平と申します。今年の４月より、避難者支援課の県外担当職員として、前任の塩谷に代わり埼玉県を担当することとなりました。

出身は伊達市です。高校進学後は県外の大学に進学し、東日本大震災があった当時は大学２年生でした。幸いにも、私自身は大きな被害を受けなかったのですが、福島の実家の家族とは連絡が取れない状況が続き、テレビで流れる凄惨なニュースだけが情報源な中で、家族が心配な気持ちと何もすることができない自分自身への無力感に苛まれたことが、強く記憶に残っています。そして、大学卒業後の進路を考える時期だったということもあったため、東日本大震災があったということが一つのきっかけとり、生まれ育った福島の地でふるさとのための仕事がしたいと考え、福島県庁の職員を志望するようになりました。

避難者支援課の担当職員として、埼玉県内に避難されている方々への戸別訪問や交流会等を通して、皆様に直接お会いしお話を伺う機会もあるかと思います。皆様の抱えていらっしゃるお悩みに対して、埼玉県内の関係機関の皆さんにも御協力をいただきながら、微力ながらお役に立てればと考えておりますので、機会がありました少しでもお話をお聞かせいただければと思います。

東京電力福島原発事故による被害者の皆様へ

原子力損害賠償・廃炉等支援機構

原子力損害賠償に関する説明・個別相談会のご案内

●開催日　7月23日（日）午前10時～午後4時
●会場　キャッスルきさい　2階　視聴覚室
埼玉県加須市根古屋633-10
東武伊勢崎線　加須駅より車にて約10分
専用無料駐車場がございます。
●個別相談 10:00～16:00〔休憩 12:00～13:00〕
対象：原子力損害においてお困りの皆様
□原則として、相談時間は1回1時間（時間予約制）
※ 個別相談は、必ず事前予約をお願いします。
※ 相談は無料です。

●開催日　7月1日（土）午前10時～午後4時
●会場　新宿 NS ビル3階 会議室 南ブロック 3-G
東京都新宿区西新宿 2-4-1 「新宿駅」南口・西口から徒歩7分
●全体説明 10:00～12:00
対象：避難等対象区域から避難されている皆様
◇ 第五次追補に伴う追加賠償、賠償請求全般について解説し、質疑応答もいたします。
●個別相談 13:00～16:00
対象：原子力損害においてお困りの皆様
□原則として、相談時間は1回1時間（時間予約制）
※事前予約をお願いいたします。※参加は無料です。

●連絡先
□ ご相談をご希望の方は、事前予約をお願い致します。
予約専用ダイヤル 0120-330-540　受付時間：9:30～17:00　土日も受付（祝休日を除く）
□ ご来場が難しい場合は、電話相談をぜひご利用ください。
電話相談ダイヤル 0120-013-814 受付時間：10:00～13:00、14:00～17:00 月曜～土曜（祝休日を除く）
・行政書士による電話での情報提供（事前予約不要）
・弁護士による電話での相談は、祝日を除く毎週火・木曜 10:00～13:00（事前予約制）
・オンラインでのご相談も可能です。

中間指針第五次追補等を踏まえた追加賠償について

中間指針第五次追補等を踏まえた追加賠償に関する最新の情報は、東京電力のWebサイト（右下のQRコード）で確認、又は、東京電力のご相談専用ダイヤルにお問い合わせください。
東京電力ご相談専用ダイヤル 0120-926-470 9:00～19:00（月～金（除く祝休日））9:00～17:00（土・日・祝休日）

本当に海に流してしまうの？

汚染水海洋放出　東電との交渉に参加して

汚染水の海洋放出についての市民と東電交渉が福島市で開かれました。この日、福島県内外から多くの人がかけつけ、50席ほどあった会場は満席でした。

若狭ネット資料室室長（大阪府立大学名誉教授・工学博士）の長沢啓行さんが緻密な資料をもとに、「サブドレン及び地下水ドレンの運用方針（東電、2015年9月）」に示された運用方針に反していることを指摘。また、トリチウム濃度の高い汚染水だけを集水タンクではなく「タービン建屋へ移送」している問題も指摘しました。つまり簡単に言うと、トリチウム濃度が、放出の基準である1リットルあたり1500bq以下になる小細工をしているのではないか、という内容です。

さらに、東電側が海洋放出を進める理由として挙げる「汚染水が発生し続ける」「廃炉作業のためにタンクの敷地を空ける必要がある」ということに対しても、実際には「数年、タンクは満水にならない」「急いで敷地を空ける理由がない」「汚染水発生ゼロが可能な段階にある」と具体的な数字と資料を提示しながら説明しました。

それらに対し、東電側は、すべて否定していましたが、詰められるたびに「準備した回答以上に回答はない」ということも繰り返していました。

最も問題とされる、福島県漁連との約束、「関係者の理解なしにはいかなる放出も行わない」ということについては、すでに海底トンネルを作り、真水で試験操業も行なっているのは「約束違反だ」という指摘が相次いでいました。県漁連は今も、はっきり反対を表明しているのです。

「国がGOと言えばいつでも放出するということにしか見えない」「工事をストップするのが真摯な姿勢だ」という発言も。それに対し、東電は「約束違反とは考えておりません」を繰り返すばかり。「ご懸念、ご不安に対して真摯に向き合って、ご理解いただけるようにいたします」という回答も、噛み合っていませんでした。最終的には「持ち帰る」と言い、「何度も同じ質問をしているのに持ち帰られても」と呆れた声も。

参加者からは、「アルプス処理水は安全だ、と言うが、安全の水なら畑にまかずに海に流すのか、なぜ福島の海なのか（福島県／女性）」「アルプス処理水のポータルサイト（QRコード）が本当に頭にくる。純粋なトリチウムは目薬一本分、15㏄と書かれている。一般の人は『そんなに少ないなら安全なのかな』と思う。しかし、トリチウムは1ミリグラムで致死量で15000人分の致死量。これを薄めれば安全と流すが、実際に死んだりしなくても、海には環境の循環があって生態系が成り立っているところに、15000人分の致死量の毒を流す（と説明してほしい）（福島県／男性）」「トリチウム、トリチウムと言っているが、（安全が懸念されるのは）それだけではない。安全の根拠を科学的に示してほしい（福島県／男性）」などの声がありました。

東電は、なぜ福島の海なのか、ということには答えず、「アルプス小委員会で現実的な案として海洋放出が決定した」と言い、目薬1本分については「具体的物量イメージを伝えるため」とし、「科学的根拠」にはUNSCEAR、ICRP、IAEAなどの国際機関の名を挙げて（どれも原子力推進側の機関）、それらの機関が「安全だと言っている」と説明しました。

ちなみに、「汚染水」を、閣議決定までして「処理水」と逐一訂正する言論統制も、本来なら「言論の問題」として議論されるべきものだと、個人的には考えています。

東電の4人も、気の毒でした。小学校の教室にいてもおかしくなかったと思うと「いま、なりたかった大人の姿ですか」と問いたくなるような、いたたまれない時間でした。実際に怒りと悲しみをこめて「かわいそうだ」と言って席を立った男性もいましたが、その言葉は、「次世代のためにより良い環境を残すためにはどうしたらいいか」ということを、本来であれば、共に考えなくてはならないことを思い出させられました。その気持ちが、政府や東電に、そして「社員」ではなく「人」として、伝わると良いのですが。

（編集部・吉田）

各地の交流会など

新型コロナウイルスの感染拡大により、交流会の流動的な状況が続いておりました。3月にマスク着用は「原則として個人の判断」となり、５月には感染法上の分類が「５類」に引き下げとなりましたが、各交流会の感染対策については連絡先にお問い合わせください。なお、各交流会に参加される方は、引き続き体温測定の上でご参加いただき、参加中は消毒や換気にご協力ください。

③	加須市	双葉町手芸教室	080-5532-7380（薄井さん）
⑤	加須市	すくすくのあそび広場	090-2411-8598（戸恒さん）
⑥	加須市	オバトン	090-6526-8560（藤井さん）
⑧	上尾市	東日本大震災に咲く会ひまわり	080-3091-6215（橘さん）
⑩	熊谷市	くまがや結の会	090-7661-9236(林崎さん)
⑯	越谷市	あゆみの会	090-9425-2001（石上さん）
⑱	川口市	ひまわりの会	080-5431-0123（島田さん）
⑲	さいたま市	さいがい･つながりカフェ	080-5532-7380 tunagari.saitama@gmail.com
㉔	新座市	新座つながりカフェ	090-2402-9155（谷森さん）
㉗	ふじみ野市	おあがんなんしょ交流会	090-5345-8408（松舘さん）
㉘	川越市	ここカフェ＠川越	070-5080-4494（鈴木さん）
㉜	さいたま市	玉兎の会	090-6128-1948（小林さん） https://gyokutonokai.wixsite.com/2018

⑥【オバトン】これまで通り第2火曜、第4木曜にキャッスルきさいにて行います。なお7月27日(木)のハーモニカ演奏、合唱は市のイベントで会場の使用ができませんので直接2階の調理室までおいでください。4月より手話をまじえての合唱を行なっています。声が出ないからと参加を見合わせている方も手話で歌を楽しんでください。新型コロナも5類に移行になりましたが、マスク着用, 消毒は続けて開催していきたいと思います。7/11(火)、7/27(木)、8/8(火)、8/24(木) 10:00～14:00 キャッスルきさい　090-6526-8560(藤井さん)
※今年度はコープみらい助成金(社会貢献活動助成金制度)の支援を受けて活動しています。

㉜【ここカフェ＠川越】7/8(土)　東電追加賠償説明会
講師はサフランの福田弁護士。避難者の方ならどなたでも無料でご参加いただけます。完全予約制(定員30名)、7/3(月)までにご連絡をお願いします。10:00～　ウェスタ川越 活動室４
8月　夏休み宿題サポート交流会(日程調整中)
pororon311@gmail.com、070-5080-4494(鈴木さん)

③【双葉町手芸教室】7/25(火)、8/22(火) 10:00～12:00
双葉町社会福祉協議会加須事務所
080-5532-7380(薄井さん)

⑯【あゆみの会】
7/23(日) 介護予防講習会
花田４丁目自治会館
8/5(土) 花田４丁目自治会の交流会に参加
090-9425-2001(石上さん)
※あゆみの会のホームページを作りました。ぜひご覧ください。
http://k-ayuminokai.info/

⑲【さいがい･つながりカフェ】
毎月第2･第4木曜開催。当面、マスク着用。食べ物と飲み物は持参。個食・個包装。7/13(木)、7/27(木)、8/24(木) 11～15時。With Youさいたま４F和室
080-5532-7380、
tunagari.saitama@gmail.com

㉗【おあがんなんしょ交流会】
7/28(金)13:30～　西公民館(集会室)8月はお休みです。
090-5345-8408(松舘さん)

㉜【玉兎の会】集合型での開催です。予約は要りません！お気軽にご参加ください。8月はお休みです。7/1(土)10:30～12:00　With Youさいたま４F セミナー室２
048-854-8703(小林さん)
https://gyokutonokai.wixsite.com/2018

福玉相談センター：電話 0120-60-7722（フリーダイヤル）
メール：fukushima_soudan@yahoo.co.jp 相談日：月～金（9:00～17:00）

当面の間、福玉相談センターの開所日を、月曜日、水曜日、木曜日、金曜日の10:00～16:00とさせていただきます。なお、メールでの相談は随時行っております。こちらから折り返し、ご連絡しますので、差し支えなければ、連絡先をメールの文面に記入していただくようお願いいたします。ご迷惑をおかけしますが、ご理解のほど、よろしくお願いいたします